

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 2月 1日

事業所名 むく(重心型放課後等デイサービス事業)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	1	特性に応じてフロアを使い分けている	感染症対策を行いながら、活動内容によって密を避ける工夫をする
	2	職員の配置数は適切である	5	1	2	長期休暇は特に、法定職員配置基準以上の配置をしている	法定職員配置基準に基づいて配置している 長期休暇は活動の工夫を行いながら配置された職員で活動が充実できる工夫をしている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1		一部、ノーリフトケアの実施をしている	重症心身障害児の利用を想定し、設備の工夫をしている。今後も積極的に試用し、福祉用具等の導入を検討する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	1	現在のプラン、目指すプランが把握できるよう情報提供している 14時からのミーティングを活用し、全体周知に努めている	定例のケース会議を活用し、支援の目的や内容の確認をしている。今後は内容を踏まえた上で職員一人一人が主体的に支援に携われるよう情報共有に努めたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	2		年度内に実施できるよう日程調整している	本来なら保護者会を定例で開催しているが、コロナ禍で開催できていない。 意見箱を置き、いつでも意向が確認できる環境を作っておきたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1			ホームページに掲載している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	2	議題に県内容を速やかに事業所に持ち帰り、施行している。 外部講師やボランティアの介入により、風通しの良い環境になるよう努めている	第三者評価は実施していない 法人内の複数事業所管理者間の会議にて、現状報告を定期的に行い、課題の共有、改善策について共有している
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1		外部研修に関しては、オンライン等で参加している	定例で毎月内部研修を実施している
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		保護者が相談しやすいよう、会話の機会を持つようにしている	三者面談で聞き取った内容を職員間で周知し、支援に活かせるよう情報共有している。 必要に応じて再アセスメントを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	4	2	個別訓練の内容等の情報収集をし、支援に般化できるよう努めている	標準化されたものは活用していない 大島分類を元に、本人の状態像の把握につとめている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		季節行事や五感に働きかけられることを意識してプランニングしている	本人の特性を鑑みながら、同じ活動でも道具や環境の工夫により、達成感が味わえる様話し合いながら実施している
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		個別活動、集団活動など織り交ぜながら、本人が楽しめる環境を整えるよう努めている	前年度の活動案等を参考にしながら、更新してより主体的な参加ができるよう工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2		活動と余暇のメリハリを持たせ、特性に応じて支援の工夫をしている	放課後と長期の過ごし方では時間の流れも違うので、集団活動や個別活動など時間も意識して取り組んでいる
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		身体的ケア等が必要なメンバーに対して、個別の時間と空間が確保できるよう調整している	感染症予防のためのエリア分けの一つに、個室も活用しているので、利用人数が多いと更に環境設定を意識する必要がある
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			職員全員で利用メンバーの支援目標等を核にし、支援にあたっている	効率よく情報共有をするための、スキルアップが必要
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		事前確認した支援が上手くいった成功体験については、その場で共有するように努めている	支援目標に対する振り返りを簡単に行う。放課後勤務の時間上、翌日のミーティングに持ち越す事も多いが、共有できるよう意識している

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	支援目標を確認することで、何の記録を残す必要があるのかを理解し、記入できるよう工夫している	支援の事実を記入、考察を記入することで、次の支援に繋がるような記録の残し方を意識していきたい。記録が書ける時間を確保できるよう役割分担もしていきたい	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1	1	誕生日月を基準に半年ごとのモニタリングを行い、現状把握と課題について多職種で共有している	相談支援専門員や学校、他事業所と連携を図り、計画書の見直し等に努めていきたい
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	1	1	できた、楽しいが経験できるよう支援し、成功体験が積めるよう努めている	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2			児童発達支援(副)管理責任者が現場の様子も確認し、会議に参画している。必要に応じて多職種の同席も行っている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	4		相互の確認、及び不明瞭な点は保護者に再確認等をするようしている。コロナ対応に関しても連携している	学校とは行事予定表を通してやり取りをし、必要な調整を行っている。場合によって、保護者より聴き取りを行い、混乱のないように対応している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2		受入れ前にアセスメントをし、主治医の確認及び、協力医との連携を行っている	状況に応じて、連携をとることができるよう事前の情報を整理していく必要がある
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2		引き継ぎの為の資料を基に、情報提供を行っている。事前の面談時にもアセスメントをしている	同法人内以外の引継ぎ時には、保護者や本人に負担のない情報共有に努める必要がある。継続性のある支援を心がけていきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1		これまでの支援が継続できるよう、情報をまとめて引継ぎをしている	支援計画及び、今後の展望をまとめた資料を作成し、情報提供を行っている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	1	必要に応じて関係機関との連携を図っている	職員の専門性を高める上でも、必要な研修に参加していきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	7	同法人内の事業所で交流活動ができるよう、企画をしている	コロナの影響もあり、今年度も交流を控えている状況にある
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	1	会議に参加しない職員にも、情報提供を心がけている	児童通所分科会に児童発達支援(副)管理責任者が出席している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		1	連絡帳やお迎えの時に、口頭で様子を伝えるようにしている。必要に応じて、面談や電話連絡等で個別対応をしている	今後、送迎を開始すると直接やりとりする機会が減少するため、情報共有や支援の経過報告の工夫が必要
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	6	保護者の意向や子どもとの向き合い方について、面談等から情報収集するよう心がけている。事業所で、できていることを報告するよう意識している	ペアトレの具体的な活動はしていないが、面談等で療育の様子をやり取りし、役割を明確にする機会としている。見方を変えられる様、ストレングスをたくさん見つけて伝えられるように意識していきたい
保護者へ	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			不明な点に関しては、再度説明の機会を持ったり、書面でのやりとりをするようにしている	契約時に説明をしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		個人情報や保護者の心情に配慮しながら、情報共有した上で必要な支援をしている。相談に関しては、傾聴を心がけ、場合によっては個別時間を設けるようにしている	相談しやすい環境づくりに努めている 今後送迎を開始すると、直接相談というよりも電話対応が多くなる可能性が高い。相談しやすい会話作りを意識する必要がある
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	4		定例の保護者会も、コロナ感染症対策で開催を見合わせている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			解決に向けて迅速に対応するように心がけている。必要に応じて苦情解決委員会に議題として挙げ、対応している	ご意見、ご相談を受けた際は柔軟かつ迅速な対応を心がけて、保護者の心情に寄り添い解決に向け対応している

の 説 明 責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	日頃の活動の様子が伝わるよう意識している	法人として会報を年2回、むく通信を月1回発行し、情報提供している SNSも活用し、週1回法人内にある事業所ごとに、活動報告している	
	35	個人情報に十分注意している	7		個人情報の取扱いについては、契約時に説明と同意を交わしている。状況によっては、保護者に確認、了承を得て使用するようになっている		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	1	メンバーの特性に応じた手段で、コミュニケーションを図っている 保護者への伝達も、内容によっては書面を提示しながら説明をするよう心がけている	合理的配慮の観点からも、これまで以上の対応ができるか見直し等をしていく	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	3		同法人内の事業所が、地域住民を対象にしたJマルシェを開催し、地域交流の場を設けている。長期休暇を活用し、交流をしていきたい
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	3		BCP計画の作成 緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルは整備している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			定期的に訓練計画を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			年1回、虐待に関する研修を実施している。毎月ケース会議で振り返りを行い、虐待防止委員会の会議で報告している	人権についての研修や、支援の質の向上のための研修を継続し、虐待防止の意識を深めたい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1		やむを得ず身体拘束をする場合は、その状況等が説明できるよう、記録をとっている	契約時の説明及び、支援計画書に明記し同意をいただくようになっている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			栄養士によるアセスメントを実施しており、配慮が必要な利用者には医師の指示書等に基づきアレルギー対応食を提供している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			ケース会議、ミーティングを活用し、状況把握に努めている。事故に繋がらない為、ヒヤッとした場面を多く共有するようになっている	ヒヤリハットの報告書をもとに、事故に繋がらないための環境の見直しを行うようになっている。ヒヤッとした事象に関しては、大小問わず、報告し情報共有に努める